

We are
CHANGE
PROMOTER.



ポータブルスキルの「3テーマ」と「24 種類のスキル」一覧！伸ばし方のコツ

ポータブルスキルとは？



「ポータブルスキル」の定義

- 業界や職種を問わず、汎用的に活用できるスキル
- 転職しても異動しても持ち運びできるスキル
- どのような時代・環境においても、成果を上げるうえで活用できるスキル
- 専門的なスキルの土台にもなるもので、ビジネスパーソンにとって成果を上げるうえでの基盤である
- テクニカルスキル（業務遂行の能力）の一種として分類されることもある



ビジネスパーソンとして活躍するには、
ポータブルスキルをしっかりと意識し、磨いていくことが不可欠

ポータブルスキルの3分類



対人力

- ・さまざまなメンバーとともに目標達成に向けて協力するための力
- ・お客様と接するシーンでも求められるスキル
- ・さらに8つの力に分類される

対課題力

- ・目の前の課題を考え抜き、解決するうえで必要なスキルの総称
- ・さらに8つの力に分類される

対自分力

- ・自分が設定したゴールに到達するうえで欠かせないスキル
- ・セルフリーダーシップにつながる力でもある
- ・さらに8つの力に分類される

ポータブルスキルのテーマ別24種類



対人力の8スキル

傾聴力

- ・相手の話に真剣に耳を傾け、理解する「聴く」スキル
- ・相手と信頼関係を築き、より深いコミュニケーションをとるために不可欠

受容力

- ・自分と異なる意見にも耳を傾けられる力
- ・多様なメンバーが集まるプロジェクトを成功に導いたりするためには欠かせない

主張力

- ・相手に自分の考えや意見を伝えられるスキル
- ・組織内外で適切な意思決定や交渉をするために不可欠
- ・相手に不快な思いをさせることなく伝えるスキル

否定力

- ・提言や意見を鵜呑みにするのではなく、自分で考えたうえで否定の決断ができる力
- ・否定力や主張力は、問題への当事者意識があって初めて発揮できるスキル

説得力

- ・コミュニケーションを通して相手を納得させられるスキル
- ・自分の意見や提案に対して相手が感じている不安要素や問題を理解して解除していく能力でもある

統率力

- ・向かうべき方向やゴールを示して周囲を先導する力
- ・統率力を発揮するためには、周囲との信頼関係を築くヒューマンスキルも大切

支援力

- ・チームやほかのメンバーを助ける力
- ・相手の現状を把握したり、相手に依存させないようにうまく支援したりする力が必要

協調力

- ・同じ目標達成に向かって、ほかのメンバーと力を合わせて協働や共創ができるスキル
- ・相手の話に耳を傾け、受け入れる傾聴力や受容力が大切

ポータブルスキルのテーマ別24種類



対課題力の8スキル

試行力

- ・意思決定できるだけの材料がない状況で、必要であれば思い切りよく試せる力
- ・困難な課題の解決やイノベーションを生み出すうえでも不可欠

変革力

- ・古い慣習や固定概念にとらわれず、物事をより良い方向に変えていこうとするスキル
- ・チームや職場の制度や仕組みをより良いものに変えていくために大切な力

機動力

- ・状況に応じて、素早く行動を起こせる力
- ・試行力と合わさることで、物事をスピーディーに進めることができる
- ・仕事や課題に対する当事者意識や主体性なども必要

発想力

- ・新しい案を思いつき、自分の考えを発展させられる力
- ・ほかのメンバーとは違った視点や固定概念にとらわれない柔軟性なども必要

計画力

- ・目標達成に向けて、緻密な計画を立てられるスキル
- ・現状分析力や課題発見力、施策に優先順位をつけられる力が必要

推進力

- ・ゴールに向かって、仕事を前に進められるスキル
- ・リーダーシップ力につながる能力
- ・変革力と合わさることで、チェンジリーダーシップとなる

確動力

- ・間違いなく確実に実行をしていく力
- ・多少粗くてもスピーディーに進める力と確実にミスなく進行していく力はどちらも大切な力

分析力

- ・自分が置かれている現状や物事の因果関係、仕組みなどを分析・解明するスキル
- ・課題解決するうえでの適切な目標設定や計画立案にも必要

ポータブルスキルのテーマ別24種類



対自分力の8スキル

決断力

- ・素早く意思決定するスキル
- ・決断の前段階で行う課題の把握や分析をしたうえで、正解が見えない意思決定をスピーディーにしていく力

曖昧力

- ・曖昧ではっきりしない状況に対して、ありのままに受け入れられる力
- ・VUCAの時代に重要
- ・グレーゾーンの存在やケースバイケースの判断を受け入れられる力

瞬発力

- ・短期間で一気にパワーを出すスキル
- ・新規事業のスタートアップや課題の早期解決を図るには重要
- ・集中力ともつながってくる力

冒険力

- ・リスクを恐れず難度の高いことに挑戦するスキル
- ・新しいイノベーションを生み出し、競合との差別化を図るうえで、特に必要な能力
- ・変化の激しい現代に重要

忍耐力

- ・直面した課題や困難に耐えるスキル
- ・ゴールに到達する過程では、途中の困難な課題から生じたストレスを上手に受け入れ跳ね返すレジリエンスなども必要

規律力

- ・ルールや秩序にのっとり整然と仕事を進めるスキル
- ・自分自身で決めたルールや習慣をきちんと守って実行していくことは、自己効力感や成果につながる

持続力

- ・目標を達成するために、自分の決めた施策を実施し続けられるスキル
- ・ルーティンの習慣化にも関係する力
- ・成果を出す、何かを成し遂げるうえでとても大切

慎重力

- ・注意深く落ち着いて仕事を進める力
- ・余裕を持ったスケジューリングをする能力も必要
- ・慎重力と確動力を併せ持つ人には、周囲が安心して仕事を任せられる

ポータブルスキルを高める3ステップ



ステップ①：現状把握

- 24種類のスキルを5段階で自己評価して、可能であれば、上司や同僚などの他人からも客観的な評価をしてもらう
- 評価によって、今の自分は何ができていて、どこに課題があるかが見えてくる

ステップ②：伸ばすスキルを決める

- 24種類すべてのスキルを伸ばすことは効率的ではないため、どこを重点的に伸ばすかを決めて、集中的に鍛えることが必要

ステップ③：集中的に鍛える

- スポーツの基礎トレーニングと同じように、基本的なフレームワークなどをインプットした後は日常生活のなかでトレーニングをして身につけていくことが大切
- 例えば「決断力」であれば、「意思決定の基準の明確化」「リスクと報酬」といった決断するための基本的なフレームワークを知ったあと、「日常生活のなかで10秒以内に意思決定する」といった自分ルールを決めて実践する

会社概要



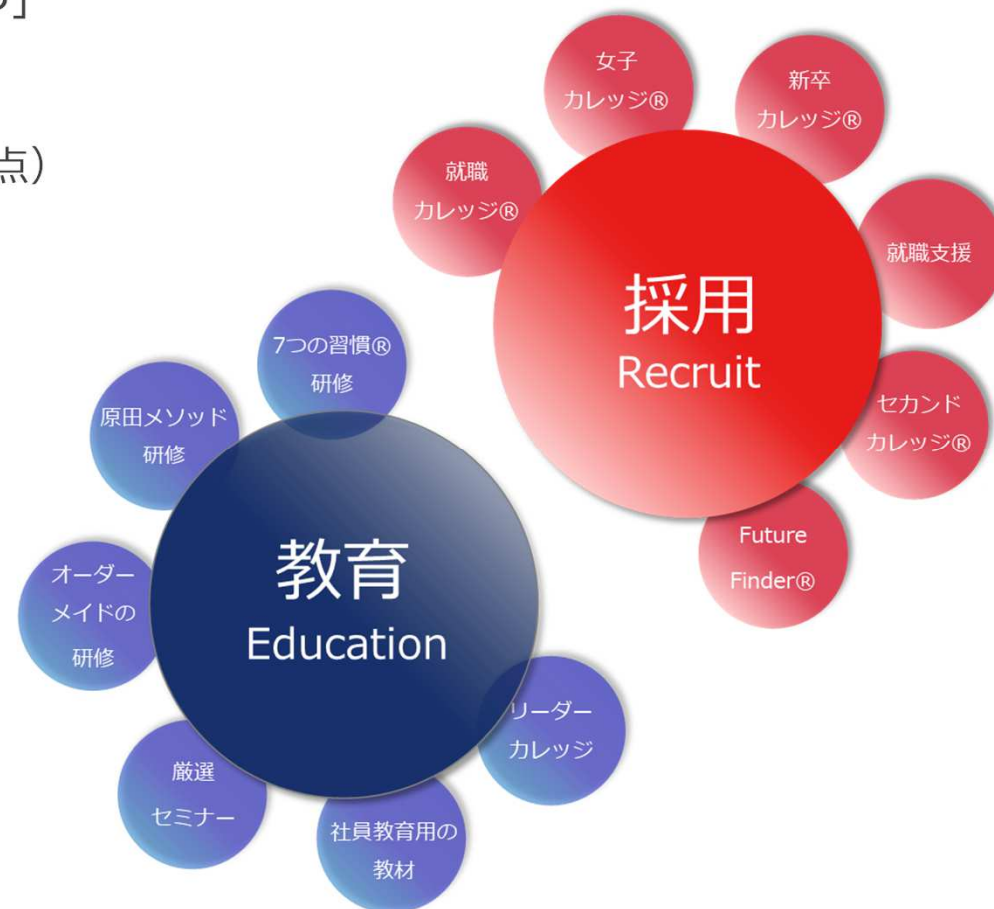
- 株式会社ジェイック  [TYO:7073]
- 設立 : 1991年3月
- 資本金 : 2億5,517万円 (2021年1月末時点)
- 社員数 : 212名 (2021年1月末時点)
- 取引先 : 76,495社

mission

企業のホームドクター、人材のメンターとなり
人と組織の限らない可能性に貢献し続ける

vision

「学ぶ楽しさ」「働く幸せ」「成長する喜び」に
満ちあふれた社会を実現する。



会社概要



「働きがいのある会社」

Grate Place To Work® Instituteが運営する「働きがいのある会社」ランキングは、世界約60カ国で「働きがい」に関する調査・分析を行い、一定の水準に達していると認められた会社や組織を発表するランキングです。ジェイックでは2017年の初エントリーから6年連続でベストカンパニーに選出されています。



日本HRチャレンジ大賞

「日本HRチャレンジ大賞」(主催：日本HRチャレンジ大賞実行委員会、後援：厚生労働省、株式会社東洋経済新報社、株式会社ビジネスパブリッシング、ProFuture株式会社)は、“人材領域の果敢なチャレンジが日本社会を元気にする”をキャッチフレーズに、人材（HR）領域で優れた新しい取り組みを積極的に行っている企業を表彰するものです。ジェイックは社会性の高い独自サービスの開発を通じて過去3回イノベーション賞や奨励賞で表彰されています。

提供する社員教育



株式会社ジェイックは

- ① **ヒューマンスキル分野**
(主体性、リーダーシップ、コミュニケーション、強み発揮etc)
- ② **新入社員、若手、管理職**

の研修を得意とする教育会社です。



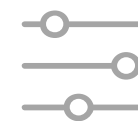
個別研修
(講師派遣)



公開セミナー
(対面型)



内製化支援
(講師育成/コンテンツ提供)



E-learning
(動画学習)

お問い合わせ



【株式会社ジェイック】

教育事業本部

Mail : kenshu@jaic-g.com

TEL : 03-5282-7600

テレワーク体制となっておりますので、電話でのお問い合わせは、
折り返しの対応とさせていただくことが多くなります。予めご了承ください。